

2019 年度

教 育 要 項

医療情報管理専攻科

学校法人 東洋学園

宮崎医療管理専門学校

目 次

序	文	
授業科目及び単位数	・・・・・・・・・・	1
時間割表	・・・・・・・・・・	2
職業指導Ⅲ	・・・・・・・・・・	3
礼法	・・・・・・・・・・	4
華道	・・・・・・・・・・	6
医療概論	・・・・・・・・・・	7
臨床医学Ⅴ	・・・・・・・・・・	9
E. M. I. T	・・・・・・・・・・	11
医事コンピュータ	・・・・・・・・・・	12
基本情報技術	・・・・・・・・・・	13
統計演習	・・・・・・・・・・	14
医療事務概論	・・・・・・・・・・	16
試験対策（医学）	・・・・・・・・・・	18
試験対策（管理）	・・・・・・・・・・	19
試験対策（分類）	・・・・・・・・・・	20
試験対策（総合）	・・・・・・・・・・	21
医療業務応用実習	・・・・・・・・・・	22
診療情報管理論Ⅱ	・・・・・・・・・・	24
診療情報管理論Ⅲ	・・・・・・・・・・	26
医療統計Ⅰ	・・・・・・・・・・	27
医療統計Ⅱ	・・・・・・・・・・	28
国際統計分類Ⅰ	・・・・・・・・・・	29
国際統計分類Ⅱ	・・・・・・・・・・	30
分類法演習Ⅱ	・・・・・・・・・・	31

序 文

21世紀を迎えた現在、我が国は世界のどの国も経験したことのない超高齢社会を迎え、医療・福祉の分野には大きな渦が巻き起こっています。人口構造からみた少子化・超高齢化の傾向は、年々拡大し、医療・福祉ニーズの増大と多様化への対応など、社会全体の緊急に解決されなければならない深刻な課題として私たちに投げかけられています。

また、医療保険・年金保険・社会福祉制度の改革等が行なわれ、サービス利用者が自立した日常生活を営むことができるための適切な医療・福祉サービスの提供、また医療・福祉・保健の有機的な連携と地域福祉の更なる推進が今後ますます期待されています。

皆さんは、将来、医療機関や社会福祉関係施設、その他関連した職場で働くことを希望し、本校での学習に取り組むわけですが、それぞれの職種に必要とされる専門的な知識や技能、そして強い精神力と行動力を身につけ、社会に貢献できる有能な人材となり、且つ本校の建学の精神でもあります「よき医療・福祉従事者であるとともに情操豊かな人格者であれ」という人間性の確立を目指し勉学に励むことを期待します。

この教育要項は、本校で学ぶ各学科目についての「学習目的・目標・内容」等の指針が示されています。これらは皆さんが計画的かつ主体的に学んでいくための重要な情報で学習意欲の向上に役立つものです。学生生活をより有効に、より有意義に過ごせるよう各学科目についての理解を深め、科目間の関連をよく把握するため、この教育要項を十分に活用することを希望します。

なお、各教科に関連する専門図書を多数用意しておりますので、学習内容を補強するためにも、図書室の有効活用を奨励します。

2019年4月1日

学 校 長 川野竜太郎

【医療情報管理専攻科】

授業科目		卒業要件		授業形態			履修時期	
		単位数	時間数	講義	演習	実習	前期	後期
一般 教養	職業指導Ⅲ	1	30		○		○	
	1科目選択	礼法	1	30		○		○
華道					○		○	
医学基礎	医療概論	2	30	○			○	
	臨床医学Ⅴ	2	30	○			○	○
専門 技術 科目	E . M . I . T	3	90		○		○	
	医事コンピュータ	1	15		○		○	
	基本情報技術	2	30	○			○	
	統計演習	1	30		○			○
	医療事務概論	2	30		○			○
	試験対策（医系）	3	90		○		○	○
	試験対策（管理系）	2	60		○			○
	試験対策（分類系）	2	60		○		○	
	試験対策（総合）	7	210		○			○
	医療業務応用実習	3	120			○		○
	診療情報管理論Ⅱ	2	30	○			○	
	診療情報管理論Ⅲ	1	15	○			○	
	医療統計Ⅰ	1	15	○				○
	医療統計Ⅱ	1	15	○			○	
	国際統計分類Ⅰ	2	30	○			○	○
	国際統計分類Ⅱ	2	30	○			○	
分類法演習	1	30		○		○	○	
合計		42	1,020					

医療情報管理専攻科

2019年度 前期 時間割

		月	火	水	木	金	土
1	9:10 ～ 10:40	国際統計 分類Ⅱ 馬原裕加里 30/30	E.M.I.T	試験対策 (分類) 馬原裕加里 60/60	医療統計Ⅱ 鶴田来美 15/15	基本情報 技術 福元 進 30/30	国際統計 分類Ⅰ 丸山こずえ 30/30
2	10:50 ～ 12:20	試験対策 (分類) 馬原裕加里 60/60	福元 進 60/90	礼法／華道 濱田美穂／大 隈久美子 30/30	試験対策 (管理) 福元 進 30/60	福元 進 30/30	診療情報管理論Ⅱ 小倉千春・谷元洋・三槻沙 也加 30/30
3	13:10 ～ 14:40	職業指導Ⅲ 馬原裕加里 30/30	臨床医学Ⅴ 入船裕子 15/15	試験対策 (医学) 崎田ゆかり 60/90	医療事務 概論 馬原裕加里 30/30		分類法演習 小倉千春・谷元洋・三槻沙 也加 30/30
4	14:50 ～ 16:20	医療概論 櫛橋弘喜 30/30	試験対策 (医学) 崎田ゆかり 90/90	ガイダンス 馬原裕加里	医事コンピュータ 馬原裕加里 15/15		

2019年度 後期 時間割

		月	火	水	木	金	土
1	9:10 ～ 10:40		E.M.I.T 福元 進 30/90	ガイダンス 馬原裕加里	試験対策 (総合) 福元 進 15/180	試験対策 (総合) 教務 15/180	国際統計 分類Ⅰ 丸山こずえ 30/30
2	10:50 ～ 12:20		試験対策 (管理) 福元 進 10/60	試験対策 (管理) 福元 進 10/60	試験対策 (管理) 福元 進 10/60	試験対策 (総合) 教務 15/180	臨床医学Ⅴ 宮本浩仁 15/15
3	13:10 ～ 14:40		試験対策 (医学) 崎田ゆかり 90/90	統計演習 平田賢一 30/30	試験対策 (医学) 崎田ゆかり 90/90	試験対策 (総合) 教務 15/180	分類法演習 小倉千春・谷元洋・三槻沙 也加 30/30

履修学年	第1学年
履修時期	前期
履修時間数	30時間
単位数	1単位
授業回数	15回
講師名	馬原 裕加里（専任教員）
授業形態	演習
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

職業指導Ⅰ・Ⅱを通して行った自己理解や職業理解をもとに、診療情報管理士等の役割について理解し、自ら職業人意識を育て、将来を展望し、自己責任の下にキャリアを選択、決定する力を養う。

(2) 行動目標

- ①キャリア形成について考え、キャリアプランを作成することができる
- ②自己理解、職業理解を活かし、積極的な就職活動ができる。

2 学習上の注意

3 評価の方法及び基準

学習態度、出席状況、定期試験、レポート

4 使用テキスト・参考文献等

病院職員読本（社団法人 日本病院会）

5 講義内容

回	講 義 内 容
1	ガイダンス
2	ワーク「就職活動の実際」
3	・履歴書作成
4	・小論文作成
5	・求人票について
6	・面接スキルアップ
7	
8	科目修得試験
9	実習指導
10	・1年次、2年次の実習指導の振り返り
11	・目標の設定
12	・実習先の調査
13	
14	
15	実習事後指導

履修学年	第1学年
履修時期	前期
履修時間数	30時間
単位数	1単位
授業回数	15回
講師名	濱田 宗徳（美穂）（非常勤講師）
授業形態	演習
備考	医療情報管理科と合同授業

1 学習目標

(1) 一般目標

- ①医療に従事するスタッフとして必要不可欠な礼儀作法を身につける
- ②医療現場で起こりうるあらゆる事態に平常心で対処できる精神を養う

(2) 行動目標

和 敬 清 寂

- ① 和…他人との関わりの中で、思いやり、心づかいの表現
- ② 敬…社会人としての基本的な挨拶がきちんとできる
- ③ 清…始めの準備、後片づけ、整理・整頓の応用
- ④ 寂…どんな時でも動じずに行動できる

2 学習上の注意

実技に伴い服装の基準を設ける
 女子…スカート、白いソックス
 男子…白いソックス

3 評価の方法及び基準

実技を通して、集中力・協調性をみていく

4 使用テキスト・参考文献等

(1) 使用テキスト

教本…学校茶道

(2) 参考文献等

千 宗室 著 「茶の真諦」

(3) その他

教材として、帛紗、扇子、懐紙、茶筌、茶巾、抹茶、菓子

5 講義内容

回	講 義 内 容	
1	座禅 10分	教材の説明、お辞儀の仕方
2	〃	お菓子の戴き方、お茶の戴き方
3	〃	席入の仕方（襖の開け方、閉め方）
4	〃	〃 （歩き方、掛け軸拝見）
5	〃	〃 （茶花の鑑賞、立ち方、坐り方）
6	〃	盆略点前 帛沙の扱い
7	〃	〃 なつめ〃
8	〃	〃 茶杓 〃
9	〃	〃 茶巾 〃
10	〃	〃 茶筌 〃
11	〃	〃 主、客の挨拶
12	〃	〃 器物の鑑賞
13	〃	茶の湯の歴史（講義）
14	〃	テスト（茶のこころ、茶の歴史）
15	学校茶道連絡協議会主催茶会参加	

履修学年	第1学年
履修時期	前期
履修時間数	30時間
単位数	1単位
授業回数	15回
講師名	大隈 久美子 (非常勤講師)
授業形態	演習
備考	医療情報管理科と合同授業

1 学習目標

(1) 一般目標

生け花に関する知識（花の名称、季節）、技術面（手法、花型）の基礎を身につける

(2) 行動目標

日々の生活（職場等）の中で、自然（花）という植物を室内に取り入れ自分の創造性（色彩、取り合わせ）で空間を飾ることができる

自然美（花、木）に接する事で、心の安らぎや情緒豊かな気持ちになり人（医療従事者）として、思いやりの心につなげる事

2 学習上の注意

実技に伴い、ハサミ、タオル等、必ず持参する。

事前に花材、花器、剣山等を準備する。

3 評価の方法及び基準

出席日数、授業態度及びペーパー試験で評価する。

4 使用テキスト・参考文献等

生け花ハンドブック、小原流初等科教本

基本（花意匠）花型図プリント

5 講義内容

回	講 義 内 容
1	簡単な花の歴史
～	花の生け方（花材や図型）を説明。実技 花を生けたあと、全作品の中から優秀作を飾る
15	ペーパー試験

履修学年	第1学年
履修時期	前期
履修時間数	30時間
単位数	2単位
授業回数	15回
講師名	講義
授業形態	榎橋 弘喜 (非常勤講師)
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

医学を社会的に適用させてはじめて医療が成り立つものである。医学と医療に関する歴史的変遷を知ったうえで、医療の現状を理解する

(2) 行動目標

社会保障制度の枠組みである所得保障、医療保障、公衆衛生、社会福祉の原則と実態を知る
関係法規の知識を得て、医療の社会的役割を理解する

2 学習上の注意

3 評価の方法及び基準

出席状況、授業態度、科目修得試験

4 使用テキスト・参考文献等

診療情報管理士テキスト 診療情報管理 I

5 講義内容

回	講 義 内 容
1	医学と医療 (1) 医学・人間の生命にかかわる科学 (2) 医学・医療の分化と統合 医学と医療の歴史
2	(1) 医学の起源
3	(2) 古代の医学（～5世紀）
4	(3) 中世の医学（5～16世紀）
5	(4) 近世の医学（16～19世紀）
6	(5) 二十世紀の医学
7	(6) 我が国の医学と医療の歴史
8	(7) 現代医療
	医療概論
9	(1) 医の倫理
10	(2) 社会保障制度
11	(3) 医療制度
12	(4) 医療法と医療計画
13	(5) 地域保健と公衆衛生
14	(6) 予防医学
15	科目履修試験

履修学年	第1学年
履修時期	通年
履修時間数	30時間
単位数	2単位
授業回数	15回
講師名	入船 裕子・宮本 浩仁（非常勤講師）
授業形態	講義
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

精神および行動の障害について、その分類の意味とその原因、症状、所見、診断根拠、治療法などの概要を理解し、疾患の適切な ICD コーディングにつながる基礎知識を修得し、応用することを目標とする。

皮膚科疾患（一部膠原病内科疾患）、整形外科疾患の概要と症状、治療法、予後等について学びそれが、将来の仕事に役立つようになること。

(2) 行動目標

- ①精神および行動の障害に分類されている各疾患とその分類を理解する。
- ②各疾患の原因、特徴、症状、診断法、治療などの知識を得、説明することができる。
- ③精神および行動の障害について得た知識を基に、患者や家族に対する関わりの中で応用できる。
- ④皮膚疾患、結合組織疾患、筋骨格疾患について正しく理解し、社会に出た際に、その知識が応用できるようになること。

2 学習上の注意

日頃より社会の動向、医療、福祉に関心を持ち、情報収集に努めること。
課題に対して意欲的に取り組み、レポート等提出期日を厳守すること。

3 評価の方法及び基準

試験・小テスト・受講意欲・レポート課題・出席状況を総合して評価する。

4 使用テキスト・参考文献等

診療情報管理士テキスト 診療情報管理 I 基礎・医学編 社団法人日本病院会
ICD-10 精神及び行動障害 臨床記述と診断ガイドライン 医学書院

5 講義内容

回	講 義 内 容
1	症状性を含む器質性精神障害（アルツハイマー病の認知症・血管性認知症）
2	統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害
3	気分〔感情〕障害
4	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害
5	パーソナリティおよび行動の障害
6	知的障害（精神遅滞）
7	発達障害（自閉症・アスペルガー症候群・ADHD等）
8	皮膚皮下組織疾患の総論、1 蜂巣菌、2 水疱症、3 皮膚炎および湿疹
9	4 丘疹落屑（鱗屑）性障害、5 蕁麻疹および紅斑、6 放射線皮膚炎、7 付属器の障害
10	8 その他の障害、9 悪性新生物
11	関節障害
12	全身性結合組織障害
13	脊柱障害
14	軟部組織障害、骨格系の障害および結合組織のその他の障害
15	科目履修試験

履修学年	第1学年
履修時期	通年
履修時間数	90時間
単位数	3単位
授業回数	45回
講師名	福元 進（専任講師）
授業形態	演習及び実習
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

- ①診療情報管理士として、必要な情報処理の応用技術を修得する。
- ②特に、システム構築・評価ができるようになる。

(2) 行動目標

- ①データベースを設計・利用できる。
- ②プログラム設計・開発ができる。
- ③システムを分析・評価できる。

2 学習上の注意

主にコンピュータ室を使用する。設備や機器の取扱いには充分注意すること。

演習は継続するものが多い為、欠席をしないこと。

途中で投げ出さず、やり抜く忍耐力も身につける必要がある。

3 評価の方法及び基準

分野ごとの試験結果、取り組みや出席状況により評価をだす。

4 使用テキスト・参考文献等

(1) 使用テキスト

- ①講師作成による資料

(2) 参考文献等

- ①VisualBasic ガイド

5 講義内容

回	講 義 内 容
1 ～ 30	プログラミング演習 ①プログラミングの基礎 ②フローチャート作成 ③VisualBasic の基本操作 ④プログラム作成演習
31 ～ 45	データベース演習 ①正規化の基礎 ②ACCESS の基本操作 ③データベース作成演習

履修学年	第1学年
履修時期	前期
履修時間数	15時間
単位数	1単位
授業回数	8回
講師名	馬原 裕加里（専任講師）
授業形態	演習
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

医療事務で重要とされる診療報酬請求事務の基礎知識や技能を基に医事コンピュータシステムによるレセプト作成技術を習得する。

(2) 行動目標

- ①医療機関における診療情報の流れに触れ医事会計の入力方法を操作する。
- ②カルテに記載されている診療情報と診療報酬の関わりを関係づける。
- ③各診療科での点数算定上の注意点を系統立てる。
- ④多くの事例を演習し、正確・迅速・詳細に分析する。
- ⑤医事コンピュータ技能検定2級を取得する。

2 学習上の注意

配布された資料・プリント類は確実に保管し、演習や検定に活用すること

3 評価の方法及び基準

受講態度・演習の取り組み及び出席状況、科目修得試験

4 使用テキスト・参考文献等

医科点数表の解釈

薬価基準・点数早見表

医事コンピュータ技能検定問題集

5 講義内容

回	講 義 内 容
1	基本操作の復習
2	入院会計・入院カルテの入力（1）
3	入院会計・入院カルテの入力（2）
4	入力総合演習（1）
5	入力総合演習（2）
6	入力総合演習（3）
7	入力総合演習（4）
8	科目修得試験

基本情報技術

履修学年	第1学年
履修時期	前期
履修時間数	30時間
単位数	2単位
授業回数	15回
講師名	福元 進（専任教員）
授業形態	講義
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

- ①情報化の進む医療の現場で働く者として、あらゆる医療情報を収集・分析・利用できる為の情報技術の基礎・応用を身につける。
- ②日本医療情報学会の実施する「医療情報技師検定試験」の受験科目のうち、情報処理技術編に合格するための知識を身につける。

(2) 行動目標

- ①ネットワークの仕組みを説明できる。
- ②ネットワークの構築ができる。
- ③データベースの設計ができる。
- ④データベースの運用と保守ができる。
- ⑤システムの分析ができる。
- ⑥システムの障害管理について説明できる。
- ⑦セキュリティ技術を列挙できる。

2 学習上の注意

講義と演習を交えて行う。検定や資格試験受験にあたっては、過去問や参考書を活用すること。

3 評価の方法及び基準

分野ごとに試験を行い、理解度により評価します。

4 使用テキスト・参考文献等

(1) 使用テキスト

医療情報「情報処理技術編」

5 講義内容

回	講 義 内 容
1～2	コンピュータの基礎
3～6	ネットワーク技術
7～8	データベース技術
9～12	システム管理技術
13～14	セキュリティ技術
15	科目修得試験

履修学年	第1学年
履修時期	後期
履修時間数	30時間
単位数	1単位
授業回数	15回
講師名	平田 賢一（非常勤講師）
授業形態	実習
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

医療情報管理科で学習した「表計算実習」における知識・技術をベースに、診療情報管理士として必要な情報収集・分析方法に関する応用技術を修得する。また、同時に統計学に関する知識や表計算ソフトを使用した統計方法についても学習していく。

(2) 行動目標

表計算ソフトを使用して、統計分析ができるようになる。

2 学習上の注意

3 評価の方法及び基準

出席状況、演習に取り組む姿勢、実技試験

4 使用テキスト・参考文献等

(1) 使用テキスト

- ①診療情報管理士問題集（管理編）
- ②講師の準備するプリント

(2) 参考文献等

(3) その他

5 講義内容

回	講 義 内 容
1 ～	表計算復習① 表計算復習② 統計の基礎① 統計の基礎② 統計の基礎③ 表計算ソフトを使用した統計方法 医療分野における統計の種類 表計算演習① 表計算演習② 統計演習① 統計演習②
15	科目修得試験

履修学年	第1学年
履修時期	前期
履修時間数	30時間
単位数	2単位
授業回数	15回
講師名	馬原 裕加里（専任教員）
授業形態	講義
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

- ①診療報酬請求業務の基本をマスターし、外来患者・入院患者に関する保険請求知識を身につける。
- ②DPC運用の診療報酬請求の基本を理解する。
- ③診療報酬請求事務従事者として正しい請求能力・より高度な処理能力を理解する。

(2) 行動目標

- ①医療保険制度等・公費負担医療制度の概要を説明できる。
- ②医療関係法規の基礎知識を応用する。
- ③DPCの制度の成り立ちから仕組みを説明できる。
- ④DPC運用におけるコーディング法と監査手法を習得する。
- ⑤DPC運用におけるさまざまな分析法を習得する。
- ⑦診療報酬請求事務能力試験に合格するための基礎を習得する。

2 学習上の注意

DPC制度について概論を学び、請求事務の復習及び演習を行います。

3 評価の方法及び基準

受講態度・出席状況
科目修得試験

4 使用テキスト・参考文献等

医科点数表の解釈
DPC点数早見表

5 講義内容

回	講 義 内 容
1	医療保険制度・公費負担医療制度
2	保険医療機関等 療養担当規則
3	診断群分類の基礎知識
4	対象病院・準備病院 提出データ 診断群分類樹形図と点数表の構造
5	点数の算定方法 医療機関係数
6	診断群分類 DPC請求の実務知識
7	対象患者・対象外患者 包括の範囲
8	入院期間 再入院 病名 ICDコーディング
9	DPCコーディング 手術、手術・処置等
10	コーディングの算定の事例①
11	コーディングの算定の事例②
12	コーディングの算定の事例③
13	コーディングの算定の事例④
14	コーディングの算定の事例⑤
15	科目修得試験

	試験対策（医学基礎）	
--	-------------------	--

履修学年	第1学年
履修時期	通年
履修時間数	120時間
単位数	4単位
授業回数	60回
講師名	崎田 ゆかり（専任教員）
授業形態	演習
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

診療情報管理士認定試験にむけて、医療情報管理科に於いて学んできた医学基礎科目の復習をし、認定試験にむけて医学基礎科目の知識の習得を図る

(2) 行動目標

- ① 指定問題集を解き、試験範囲とポイントを理解して試験対策に主体的に取り組むことができる
- ② 人体構造および機能について理解し、障害や疾患との関係がわかる
- ③ 主な疾患について、その特徴や症状、検査、治療について要点をのべることができる

2 学習上の注意

指定された課題を確実にやり遂げてください

3 評価の方法及び基準

最終試験の結果に、出席状況、受講態度、小テストの結果をあわせて評価します

4 使用テキスト・参考文献等

診療情報管理テキストⅠ 基礎・医学編	日本病院会
診療情報管理テキストⅡ 基礎・医学用語編	日本病院会
診療情報管理士問題集 基礎・医学編	日本病院会

5 講義内容

回	講 義 内 容
1	① 指定問題集に取り組み、答案を提出する。
～	② 疾患の特徴・症状、検査、治療について問題を解きながら整理する。
60	③ 章ごとに確認テストを実施
	④ 模擬テスト

履修学年 第1学年
 履修時期 後期
 履修時間数 60時間
 単位数 2単位
 授業回数 30回
 講師名 福元 進（専任教員）
 授業形態 講義
 備考

1 学習目標

(1) 一般目標

診療情報管理士受験指定教科修得科目のうち、専門・診療情報管理編についての復習を行い、理解を高める。

(2) 行動目標

- ①診療情報管理士 教育問題集の問題を何度も解く
- ②診療情報管理士認定試験に合格する

2 学習上の注意

繰り返し同じ問題を解き、用語を少しでも多く覚えていく

3 評価の方法及び基準

出席状況、受講態度、小テスト結果

4 使用テキスト・参考文献等

診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門・診療情報管理編
 診療情報管理士 教育問題集（専門・診療情報管理編）

5 講義内容

回	講 義 内 容
1	テキストと教育問題集を使用した復習
～	
30	科目修得試験

試験対策（分類系）

履修学年	第1学年
履修時期	前期
履修時間数	60時間
単位数	2単位
授業回数	30回
講師名	馬原 裕加里（専任教員）
授業形態	演習
備考	

1 学習目標

（1）一般目標

診療情報管理士認定試験にむけて、分類法総論・分類法演習講義に於いて学んできた知識を関連付けながら、疾病分類法の総合的理解を深める

（2）行動目標

- ①人体構造（解剖生理）、医学各論等で学習した知識を生かし、疾病分類の理解を深め適切なコーディング技術を習得する
- ②国際疾病分類（ICD）を用いるうえでの注意事項の習得
- ③原死因の定義と死亡診断書について説明できる
- ④指定問題集を解き、試験範囲とポイントを理解して試験対策に主体的に取り組むことができる

2 学習上の注意

指定された課題を確実にやり遂げてください

3 評価の方法及び基準

最終試験の結果に、出席状況、受講態度、小テストの結果をあわせて評価します

4 使用テキスト・参考文献等

診療情報管理テキストⅣ 専門・国際疾病分類法編 日本病院会
 診療情報管理士問題集 専門・国際疾病分類法 日本病院会

5 講義内容

回	講 義 内 容
1	⑤ 国際疾病分類 注意事項
	⑥ 原死因の定義と死亡診断書
～	⑦ 章ごとの確認テストおよび疾病の理解
	⑧ 問題集の解説
30	⑤科目修得試験

履修学年 第1学年
 履修時期 後期
 履修時間数 210時間
 単位数 7単位
 授業回数 105回
 講師名 福元進（専任教員）、馬原裕加里（専任教員）、崎田ゆかり（専任教員）
 授業形態 講義
 備考

1 学習目標

（1）一般目標

診療情報管理士受験指定教科修得科目の総まとめとして、基礎・医学、専門・診療情報管理、専門国際疾病分類法について復習し、その知識を確かなものとする

（2）行動目標

- ①医学の基礎科目を理解している
- ②診療情報管理科目を理解している
- ③国際疾病分類法科目を理解している
- ④診療情報管理士認定試験に合格する

2 学習上の注意

診療情報管理士認定試験模擬試験を週1回計5回実施します

3 評価の方法及び基準

出席状況、受講態度、模擬試験

4 使用テキスト・参考文献等

診療情報管理士テキスト・問題集 診療情報管理Ⅰ 基礎・医学編
 診療情報管理士テキスト・問題集 診療情報管理Ⅲ 専門・診療情報管理編
 診療情報管理士テキスト・問題集 診療情報管理Ⅳ 専門・国際疾病分類法編

5 講義内容

回	講 義 内 容
1 ～ 105	診療情報管理士認定試験模擬問題演習、解答と解説を中心に進めます。

履修学年	第1学年
履修時期	後期
履修時間数	120時間
単位数	3単位
授業回数	
講師名	県内外医療機関実習指導担当者
授業形態	実習
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

机上で学んだ知識と技術が、実践の場でどのように活用されているかを体得し、同時に医療機関において必要な対人関係スキル・社会性について学ぶ。また、医療機関における専門職を目指す使命感と責任感を自覚し、診療情報管理の具体的な活用や今後のあり方など、常に問題意識をもち実習に取り組んでほしい。

(2) 行動目標

- ①病院の基本的機能について理解する。
- ②診療録管理部門の病院内で果たしている機能について理解する。
- ③診療情報管理の実務を体験し、指導者のもとで基本的な業務を身につける。
- ④日常の業務を通じて専門職としての使命や責任についての自覚がもてる。

2 学習上の注意

3 評価の方法及び基準

実習先より提出された評価および日報、実習報告書を総合し評価する。

4 使用テキスト・参考文献等

5 講義内容

回	講 義 内 容
	<p>医療業務応用実習</p> <p>[実習内容]</p> <p>①実習施設を理解する 組織、機能、施設、院内規定について学ぶ</p> <p>②診療情報の機能を理解する 具体的な業務内容について学ぶ</p> <p>③診療記録の流れを理解する 診療記録貸出・返却業務、アリバイ管理 診療記録の収納、保管</p> <p>④入院ファイルの管理、点検 サマリーの点検、ファイルの製本</p> <p>⑤コーディング業務</p> <p>⑥DPCのコンピュータ入力</p> <p>⑦医療統計、日報・月報の作成 情報の活用と提供</p> <p>⑧医療関連法規と実務の関係について学ぶ</p> <p>⑨医療保険制度について理解する</p> <p>⑩その他</p>

履修学年	第1学年
履修時期	前期
履修時間数	30時間
単位数	2単位
授業回数	15回
講師名	谷元 淳（非常勤講師）、小倉 千春（非常勤講師）
授業形態	講義
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

- ①診療情報管部門の業務内容の実務を理解することにより、医療情報の管理・活用法を身につける。
- ②診療情報に関わる関連法規の知識を得て、診療情報管理の社会的役割を認識する。

(2) 行動目標

- ①診療情報管理部門の日常業務を説明する。
- ②診療情報の収集について、監査、診療情報のデータベース化等を行う。
- ③診療情報の管理について、日常業務のあり方からあるべき姿を説明する。
- ④診療情報の活用について、実例より分析をおこなう。
- ⑤診療情報管理士認定資格の知識を取得する。

2 学習上の注意

3 評価の方法及び基準

出席状況並びに講義における受講態度・科目修得試験

4 使用テキスト・参考文献等

日本病院会通信教育 診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅳ
 日本診療情報管理学会編集 診療情報学

5 講義内容

回	講 義 内 容
1 ～ 14 15	<p>診療情報管理士について</p> <p>診療情報管理士とは何か、診療情報管理士の業務指針</p> <p>診療情報管理士に求められる資質</p> <p>知能と技能、視点</p> <p>診療情報管理士の基本業務</p> <p>診療情報を安全に管理する、点検する、有効に活用する、提供する業務</p> <p>個人情報保護の視点からの保管管理</p> <p>紙カルテ運用における診療情報管理</p> <p>電子カルテ運用における診療情報管理</p> <p>診療情報の提供に係る業務</p> <p>診療情報管理士による改善への取り組み</p> <p>医療の質の評価、医療安全管理、チーム医療、病院経営</p> <p>診療情報管理士の活動組織</p> <p>診療情報管理室、診療情報管理委員会、適切なコーディングに関する委員会</p> <p>科目修得試験</p>

履修学年	第1学年
履修時期	前期
履修時間数	30時間
単位数	1単位
授業回数	8回
講師名	谷元 淳（非常勤講師）、小倉 千春（非常勤講師）
授業形態	講義
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

DPC・医師事務作業補助者・がん登録の実務知識を得て、社会的役割を認識する。

(2) 行動目標

- ①DPC制度について説明する。
- ②医師事務作業補助者業務について説明する。
- ③がん登録の実務について説明する。
- ④診療情報管理士認定資格の知識を取得する。

2 学習上の注意

3 評価の方法及び基準

出席状況並びに講義における受講態度・科目修得試験

4 使用テキスト・参考文献等

日本病院会通信教育 診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅳ
 診療情報管理士通信教育付加コース DPC コーステキスト
 院内がん登録標準登録様式

5 講義内容

回	講義内容
1	DPC制度と実務
	DPCと診療情報管理士との関わり
	影響調査と診療情報管理士
	DPCと影響調査
	病院指標の公開と診療情報管理士
～	データ精度と診療情報管理士
	DPCデータの活用
	医師事務作業補助者業務について
	医師事務作業補助者の業務と体制
	医師事務作業補助者と診療情報管理士の関わり
	がん登録の実務について
7	わが国のがん対策とがん登録
	レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）について
8	科目修得試験

履修学年	第1学年
履修時期	後期
履修時間数	16時間
単位数	1単位
授業回数	8回
講師名	福元 進（専任教員）
授業形態	講義
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

本講義は、診療情報管理士受験要件科目である。

統計的手法の理解、医療評価指標、経営管理指標について理解を深め、活用していく。

(2) 行動目標

グラフの作成から活用、各指標を用いた計算を行い慣れていく。

2 学習上の注意

3 評価の方法及び基準

学科目履修試験及び出席状況を重視

4 使用テキスト・参考文献等

(1) 使用テキスト

診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ「第7章」

診療情報管理士問題集

5 講義内容

回	講義内容
1	データのグラフ表現 医療評価指標の種類 経営管理指標の種類 各評価指標を用いた計算 倫理研究の主な手法と医学系研究に関する倫理指針
8	学科目履修試験

履修学年	第1学年
履修時期	前期
履修時間数	16時間
単位数	1単位
授業回数	8回
講師名	鶴田 来美 (非常勤講師)
授業形態	講義
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

情報を活用する手段の一つとして、統計的方法による分析の基礎と視覚化の方法を修得する。

(2) 行動目標

統計的方法とデータのグラフ表現を理解する。

2 学習上の注意

3 評価の方法及び基準

出席状況 科目修得試験

4 使用テキスト・参考文献等

診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ

5 講義内容

回	講 義 内 容
	統計的方法
1	(1) 変量と尺度
2	(2) 記述統計
3	(3) 推測統計の基礎
4	(4) 統計的推定
5	(5) 統計的仮説検定
	データのグラフの表現
6	(1) データの視覚化
7	(2) 各種のグラフ
8	科目修得試験

国際統計分類 I

履修学年	第1学年
履修時期	通年
履修時間数	30時間
単位数	2単位
授業回数	15回
講師名	丸山 こそえ (非常勤講師)
授業形態	講義
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

情報の処理の効果的な処理方法である「分類法」の理論と技法を習得し、ICD-10の活用能力を高め診療情報管理に従事するものとしての知識を身につける。関連するDPC制度及びがん登録に関する知識も身につける。

(2) 行動目標

- ①国際疾病分類を説明できる。
- ②医療における情報を有効かつ活用するために必要な具体的管理方法と業務内容を列記できる。
- ③分類コードを行うために定められたルールを説明できる。
- ④診療情報管理士認定資格の知識を習得する。

2 学習上の注意

3 評価の方法及び基準

出席状況並びに講義における受講態度、科目修得試験

4 使用テキスト・参考文献等

日本病院会通信教育 診療情報管理士テキスト 診療情報管理IV

5 講義内容

回	講義内容
1	診療情報管理論Ⅱ 9-3 診療情報管理士の基本業務
2	診療情報管理論Ⅲ 10-1 DPC制度と実務
3	10-2 医師事務作業補助者業務について
4	10-3 がん登録の実務について
5	国際統計分類 I 11章
6	国際疾病分類論
7	国際疾病分類 (ICD) 説明
8	国際疾病分類 (ICD) の現状と課題・他の国際疾病分類ファミリー
9	国際疾病分類 (ICD10) の使用、基本体系及び各章の特徴と構成
10	主要病態の選択ルール
11	原死因選択ルール
12	・死亡診断書記載意義
13	・原死因コーディングのための注釈
14	・周産期死亡コーディングルール
15	科目修得試験

国際統計分類Ⅱ

履修学年	第1学年
履修時期	前期
履修時間数	30時間
単位数	2単位
授業回数	15回
講師名	馬原 裕加里（専任教員）
授業形態	講義
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

ICD-10 の具体的な使用方法を理解することによりそれらの活用能力を身につけ診療情報管理に従事するものとして分類の知識を深める

(2) 行動目標

- ①国際疾病分類の具体的な使用方法を説明できる。
- ②腫瘍分類（ICD-O、Mコード）、医療行為の分類について説明できる。
- ③診療情報管理士認定資格の知識を習得する。

2 学習上の注意

3 評価の方法及び基準

出席状況並びに講義における受講態度・科目修得試験

4 使用テキスト・参考文献等

- ①日本病院会通信教育 診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅳ
- ②ICD-10 2013 準拠 第1巻「内容例示表」（財団法人厚生統計協会）
- ③ICD-10 2013 準拠 第3巻「索引」（財団法人厚生統計協会）

5 講義内容

回	講義内容
1	国際疾病分類（ICD）の実際の利用
2	国際疾病分類（ICD）編さんの基準とその特徴
3	
4	国際疾病分類：ICD-10 の使用上の注意点と問題
5	「ICD-10」で使用されている記号と符号
6	複数・複合病態分類及び二重分類
7	国際疾病分類（ICD）以外の疾病分類、処置分類
8	ICD-9-CM で使用される記号と符号
9	腫瘍学分類（ICD-O）及び新生物の形態の構成等
10	用語の定義、ICD 索引表の構造および傷病名の構成
11	WHO-FIC（WHO 国際分類ファミリー）と ICF（国際生活機能分類）
12	コーディング演習
13	コーディング演習
14	まとめ
15	科目修得試験

履修学年	第1学年
履修時期	前期
履修時間数	30時間
単位数	1単位
授業回数	15回
講師名	谷元 淳（非常勤講師）、木村 陽子（非常勤講師）、小倉 千春（非常勤講師）
授業形態	演習
備考	

1 学習目標

(1) 一般目標

診療情報管理に従事するものとして総論で学習した内容に基づき、さらに具体的な留意点等の理解を深めつつ頻度の高い疾病を中心にコーディング知識を身につける。

(2) 行動目標

- ①ICD-10 各章における代表的疾患のコーディングを記述する。
- ②用語の定義を説明できる。
- ③診療情報管理士として必要な知識を習得する。

2 学習上の注意

3 評価の方法及び基準

出席状況並びに講義における受講態度・科目修得試験

4 使用テキスト・参考文献等

- ①日本病院会通信教育 診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅳ
- ②ICD-10 2013 準拠 第1巻「内容例示表」(財団法人厚生統計協会)
- ③ICD-10 2013 準拠 第3巻「索引」(財団法人厚生統計協会)

5 講義内容

回	講 義 内 容
1	コーディングをはじめるにあたって
2	章の特徴・基礎問題 第I章 感染症および寄生虫症 (A00－B99) 第III章 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 (D50－D89) 第IV章 内分泌、栄養および代謝疾患 (E00－E90)
3	I 第V章 精神および行動の障害 (F00－F99) 第VI章 神経系の疾患 (G00－G99) 第VII章 眼および付属器の疾患 (H00－H59)
4	第VIII章 耳および乳様突起の疾患 (H60－H95) 第IX章 循環器系の疾患 (I00－I99) 第X章 呼吸器系の疾患 (J00－J99)
5	第X I章 消化器系の疾患 (K00－K93) 第X II章 皮膚および皮下組織の疾患 (L00－L99)
6	第X IV章 腎尿路生殖器系の疾患 (N00－N99) 第X VII章 先天奇形、変性および染色体異常 (Q00－Q99)
7	第X VIII章 症状、徴候および異常臨床所見・ 異常検査所見で他に分類されないもの (R00－R99) 第X X I章 健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用 (Z00－Z99)
8	第X III章 筋骨格系および結合組織の疾患 (M00－M99)
9	第X V章 妊娠、分娩および産褥 (O00－O99)
10	第X VI章 周産期に発生した状態 (P00－P96)
11	第II章 新生物 (C00－D48)
12	
13	第X IX章 損傷、中毒およびその他の外因の影響 (S00－T98)
14	第X X章 傷病および死亡の外因 (V01－Y98)
15	科目修得試験

2019年度
教 育 要 項

発行日 2019年4月1日

学校法人 東洋学園

宮崎医療管理専門学校

教務部 医療情報管理専攻科

〒889-1701 宮崎県宮崎市田野町甲1556-1

TEL 0985-86-2271

FAX 0985-86-2273

URL <http://www.toyome.ac.jp>